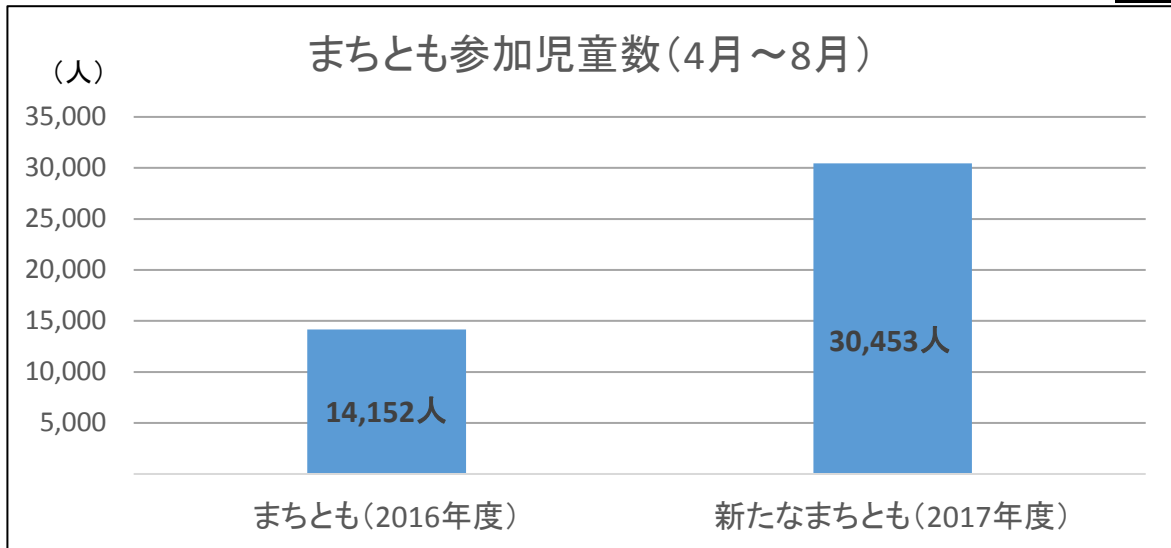
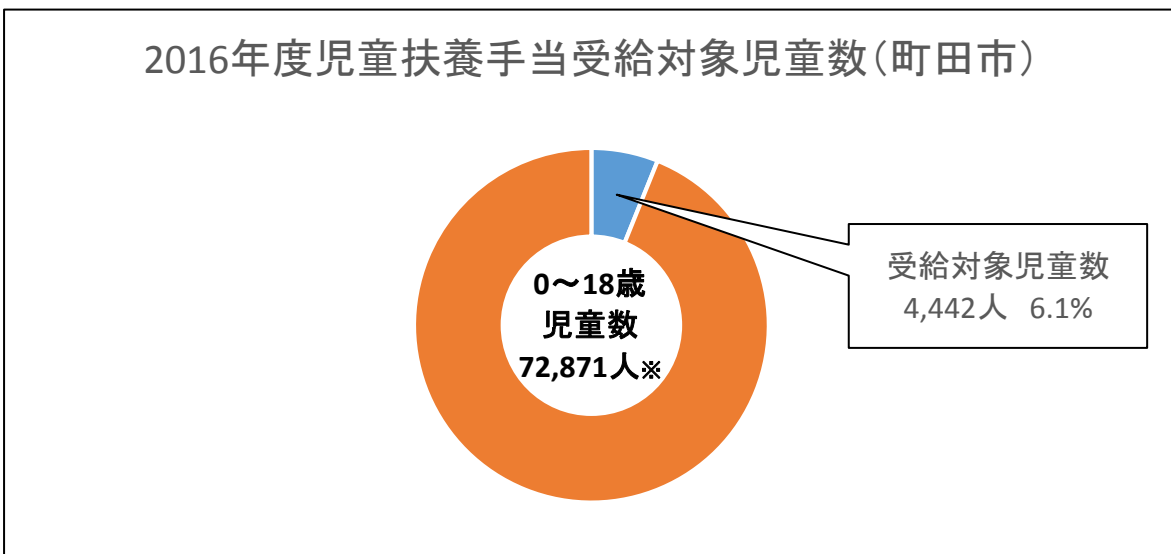


①



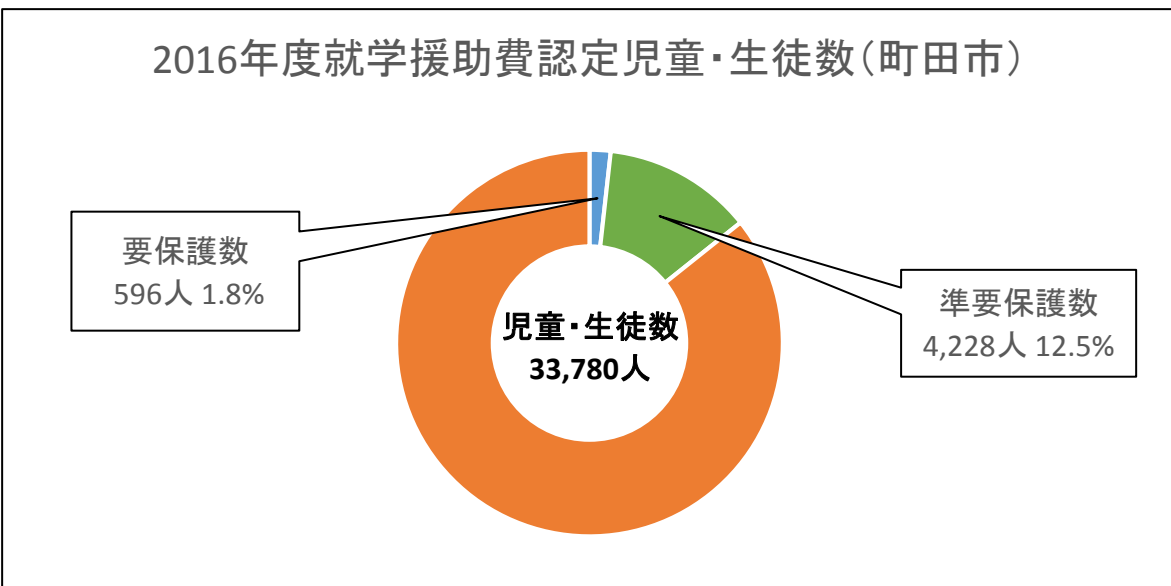
※2017年4月に新たなまちともを開始した9校の合計人数

②



※2017年3月1日時点

③



④ 子どもの貧困率

| | 子どもの貧困率 |
|--------|---------|
| 国 ※1 | 13.9% |
| 町田市 ※2 | 9.5% |

※1 平成28年国民生活基礎調査(厚生労働省、2015年時点)

※2 市内公立小中学校の児童・生徒及びその保護者に対する調査(町田市、2016年)

子育て世帯の日常生活に関する実態把握のための、市内公立小中学校の児童・生徒及びその保護者に対する調査の分析結果（調査期間：2016年6月29日～7月13日）

■子どもをめぐる困難4区分の分類ごとの割合

子育て世帯が抱える問題を「経済的な困難の有無」及び「成育環境上の困難の有無」の2軸で整理し、この2軸を掛け合わせ「経済成育困難世帯」、「経済困難世帯」、「成育困難世帯」及び「非困難世帯」という4区分に分類し分析した。

子どもをめぐる困難4区分の対象者数（保護者、n数）

| | | 成育上の分類 | | |
|--------|------|--------------------------|-----------------------------|------------------------|
| | | 困難あり | 困難なし | |
| 経済上の分類 | 困難あり | ① 経済&成育困難 69 (2.7%) | ② 経済困難 160 (6.2%) | → |
| | 困難なし | ③ 成育困難 541 (21.0%) | ④ 非困難 1,802 (70.1%) | |
| | | ↓ | | |
| | | 成育困難(2区分) 610 (23.7%) | 非成育困難(2区分) 1,962 (76.3%) | |
| | | | | 分類可能計 2,572(100,0%) |

■調査結果から見る「③成育困難」世帯の状況

経済的には課題がないものの、子どもに関することへの対応がおろそかになっている保護者や、親子間のコミュニケーションの機会が少ない家庭が多くみられた。子どもについて、自尊心の低さや、自分への自信の無さがあった。

- ・保護者、子ども共に周囲とのつながりが少なく、保護者は相談相手を必要としている世帯が多い。
- ・子どもは、自尊心や食事環境、勉強について問題を抱えている場合が多い。
- ・子どもに、大人になるために必要な力がついていない状況が見られる。これは、保護者が子どもだった頃も同じ場合が多い。
- ・経済上は非困難であるが、子どもの食事に関することや、子どもの学力については課題が見られ、また、物質的にはく奪（所得面で問題が無くても、一定水準の生活に必要な物品が不足している状況）も見られる。

出典：町田市子育て支援ネットワーク連絡会レポート（2017年2月）を一部修正